

# 加西市議会だより

council reports No.123

## 第230回(2月)臨時会、第231回(3月)定例会を開催

2月7日(日)から15日(月)の日程で、第230回臨時会を開催し、提案された議案5件が原案否決、意見書案1件が原案否決となりました。

3月1日(月)から25日(木)の日程で、第231回定例会を開催。平成22年度予算案件10件については、予算特別委員会を設置し、審議を行いました。提案された案件について、議案2件(玉丘史跡公園の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定、加西市の組織及びその事務分掌に関する条例の一部改正)を原案否決、議案1件(平成22年度加西市一般会計予算)を修正可決し、人事案件2件を原案同意、議案31件を原案可決、陳情1件・請願2件を原案採択、意見書案3件を原案可決しました。

また、加西市議会の議員の定数を定める条例の一部を改正する条例の制定についてが提案され、議員定数検討特別委員会に付託され継続審査となりました。

## CONTENTS

2~4 2月臨時会(委員会の審査状況、討論、議決結果)

5~7 3月定例会(委員会の審査状況、討論、議決結果)

8~11 一般質問

12 加西市議会基本条例の制定に向けて、6月定例会日程



## 議会改革市民フォーラムを開催

4月24日(土)、アスティアかさい多目的ホールで議会改革市民フォーラム—『議会基本条例』どう変わる! 加西市議会一を開催しました。早稲田大学マニフェスト研究所客員研究員の中尾修さんの基調講演をはじめ、加西市議会基本条例の素案説明を行い、市民、行政関係者等、100名を超える方々にご参加いただきました。

## 2月臨時会 委員会の 審査状況

2月臨時会では、4議案が建設経済委員会（2月10日）に付託され、審議されています。その概要についてお知らせします。

### 建設経済委員会

（議決結果）

開発調整条例の制定については賛成多数（3対2）により修正可決、オークタウン加西の指定管理者の指定については附帯決議を付して賛成多数（3対2）で可決。

（主な審議の状況）

開発調整条例の制定

開発事業の実施に当たり関係法令の手續に先立ち、市・開発業者及び市民の相互理解と協力を促進するため、事前の調整に必要な基準及び手續を定めるもので、周辺住民とのトラブルを未然に防止し、適正な土地利用

を誘導する目的で制定するもの。

委員からは、問題点発生の時点で検討して変えていかなければ行政施策は前進しないこと、開発に当たり地域住民が内容を知る手だてが得られる意味では大きな前進であり、修正で間に合うところは修正して前向きに進めていくことが必要との賛成意見が述べられています。

また、開発は環境面等のさまざまな分野に及ぶため、関係部局職員で構成された開発調整審査会を設ける条項、組織運営に関して規則で定める条項、関係住民が意見書を開発事業者だけでなく、直接市長にも提出できる条項、市長へ直接意見書が提出された場合、開発事業者に通知しなければならぬ条項を加える修正案が提出されました。これに対し、再度執行者側から議員の反対意見を考慮した中身で、実務可能な条例の提出を待ちたい、開発調整審査会が実務可能か分からない時点で、全く新しいものを無責任に出すことはやり過ぎとの反対意見が述べられました。

オークタウン加西の指定管理者

の選定

お荷物だから指定管理者に任

せようとする考えが間違っている、市民全体の財産を自分たちで守っていくという方向性がとれないかとの反対意見、少子化等の社会変化にあわせて民間委託を行い、市外の利用者を増やしていけばいい、非常に重要な施設であるが、市民会館を委託している以上、やむを得ないとの賛成意見が述べられました。

また、地域の要望を踏まえ、指定管理者に委託しても、協定書締結に際して地元利用や雇用及び地元活性化に寄与する合意を市と指定管理者で進めてほしいとの附帯決議が出され、賛成多数で可決しています。

### 総務委員会

（審議結果）

市職員の公益的法人等への派遣等に関する条例については賛成少数（2対3）により否決、副市長定数条例の一部改正については賛成少数（0対5）で否決。

（主な審議の状況）

市職員の公益的法人等への派遣等に関する条例

昨年6月、9月の2回否決となっており、派遣先を特定しな

結果的に意見合意が見られず、原案について採決を行い否決と決定しました。

副市長定数条例の一部改正

昨年否決された副市長の定数を1名から2名に変更する内容を、2名以内という表記に変更し、新たに提出されたもの。表記を変更した理由は、2名に限定していたのは、県の法制担当からの指導により限定表記をしたものだが、前回の指摘を受け調査し、以内という表記で規定しているところもあることから、弾力性を持たせる意味で以内という表記としたもの。

委員からは、非常に職員が少なくなっている状況で、特別職として高給な副市長を新たに採用することの市民感情についてなどの意見が述べられ、市長からは、単に副市長の事務量が多いというのではなく、加西市を改革していく上で指導的な立場、部長級を統括する立場の者として、新たな副市長が必要で、永続的に2名体制ではなく、必要がなくなれば1名に戻したいという切実な思いが述べられています。

## 2月臨時会

# 討 論

議案に対する討論について、  
主なものをお知らせします。

### 教育委員会委員の任命

#### 賛成

○中央教育審議会の教育制度分科会の地方教育行政部会の中では市外の人、学者ではだめという議論はされていない。

○地域住民の民意の反映とは、委員に選ばれた方が結果的に地域住民の意向を反映していくこと。

○笹沙准教授と加西市の教育を考える会での真摯な態度と的確な答弁に好感、安心感を持った。

○現在の教育委員会は、教育経験者、県行政経験者、PTA保護者で、大学教員が入っても、偏ったバランスにはならない。

○教育行財政学の専門家で、教育委員会の改革が進まない分野において、他のメンバーの方と

ともに、教育の変革を進めていただけるのではないかと決し、派遣を行うべき。

#### 反対

○一般市民で加西の教育の現状に関心があり、色のついてない意見を述べられる人を選出すべき。

○大学の公務のほか、全国的に活躍され、多忙である方で、委員として毎月の任務がこなせるのが不安。

○現役のPTAの方を選任されるかどうか。

○教育施設の耐震化、統廃合などの課題の取り組みを進めるためには、加西市にとつしりと両足をつけた人を選任すべき。

○視野の拡大による教育の質の向上は、教育長が本来やらなければならないこと。

#### 採決結果

賛成7、反対10で不同意

### 職員の公益的法人等への派遣等に関する条例

#### 原案に賛成

○市役所の庁舎内ばかりでなく、いろんなところへ行って勉強し、活躍したい職員もいるはず。

○社協組織の改革、改善には、管理業務に長けた市職員の派遣が望まれて提案されている。意地の張り合いでいたすずに時間を費やすのではなく、早急に議

決し、派遣を行うべき。

#### 修正案に賛成

○市長より、議会から社会福祉協議会限定の修正案を出されたら受け入れる用意もあるとの答弁があり、市民の目線に立ち、少しでも前へ進める努力が、市民から求められている。

○原案に賛成だが、緊急を要する社会福祉協議会に人員を派遣すべき。

○社会福祉協議会に派遣することとは異存がなく、どちらから提案しても、市民益、福祉益につながればいいこと。

#### 原案に反対

○以前否決された議案と全く同じ内容で、いつでもどこでも派遣できることが問題。

○派遣先にJA兵庫みらいの名前も挙がったが、公的な役割も担っているとはいえず、金融機関、共済、福祉、葬儀、旅行等を行っている事業体で、公務員が従事することは慎重であるべき。

○規則で派遣先を定めるのは、恣意的運用は言うまでもなく、職権濫用の危険も危惧される。

#### 修正案に反対

○社会福祉法人に対する派遣に限るとの文言を加筆され再提案されることを提案したが、受け入れられなかった。

○行政側から積極的に提出されるべき。

#### 採決結果

(修正案) 賛成5、反対12で否決  
(原案) 賛成6、反対11で否決

### 副市長定数条例

#### 賛成

○2名以内を状況によっては認めるという制度設計で、条例が可決されれば即2名を同意するものではない。

○加西市の政策課題を解消するには、問題意識を持って、外部との交渉も行え、各部署に指示ができる副市長が必要。

#### 反対

○現在の副市長や部長に指示を的確にし、連携を密にして、連絡指示が末端まで伝わるようにすれば、2人も要らない。

○現状の限られた資源で職員と一体となり当面の課題を民間の知恵、発想で工夫し、乗り切る姿勢を示してもらいたい。

○財政再建が急務であり、副市長1人分の年間経費1,600万円強の費用対効果が不透明。

○市長の仕事のあり方、権限委譲のあり方、制度的なものを変えなければ行政のスピードアップはできない。

採決結果  
賛成4、反対13で否決

### 開発調整条例

原案・修正案に賛成

○条例制定により、事前に市、住民が工事着手前に開発を知ることが出来る。

○経済が停滞しないよう、開発調整審査会を設け、スムーズな対応や、公正、公平な対応が求められる。

○議会での否決を踏まえ再検討された内容が今回も反映されている。

○危惧される点は、監視機能を発揮をさせていくことが議会の本来の役割。

原案・修正案に反対

○調整に名を借りたチェックに変わりなく、平等性、公平性、公正さが確保されなければ安心できない。

○開発調整委員会の性格が未知数。

○開発を促進するどころか、抑止につながるもので、現不況下において制定すべきではない。

○乱開発防止は重要だが、現法律で、十分対応できる。

#### 採決結果

原案・修正案ともに賛成7、反対10で否決

## オークタウン加西の 指定管理者の選定

### 賛成

○さまざま提案がされており、指定管理者に任せることにより、利便性向上、サービスの充実が図れる。

○地元区長の理解、賛同も得ており、初参会の説明でも異議がなかったと聞いている。

○指定管理者に委ね、行政は市民サービスが向上されるように監視していくべき。

○地元の雇用、地元の利用、将来的な地域の活性化についても十分に配慮していくということと協定書の中に結ぶことを附帯決議としてつけて、指定管理者の指定を認めることが必要ではないか。

### 反対

○年度内の議決を急ぐあまり、条件整備が一般常識、手順を飛び越えたものとせず、きっちり環境整備を整えて提案されることを望む。

○地元とのかわりが非常に強く、地元の意見を尊重する必要がある。

○行政として不十分性があれば、改善する努力をすべきで、安易な形の指定管理者への移行

は反対。

○地元の施設、ボランティアの拠点として有用な役割を果たしており、現行のまま行っていくのが適切。

### 採決結果

賛成7、反対10で否決



市民会館での臨時会（2月7日）

## 第230回 加西市臨時会議決結果一覧 平成22年2月7日（日）～2月15日（月）

議案	井上 智章	別府 直	丸岡 弘満	小谷 安富	繁田 基	土本 昌幸	高橋佐代子	黒田 秀一	吉田 稔	後藤 千明	森元 清蔵	井上 芳弘	西川 正一	三宅 利弘	高見 忍	森田 博美	桜井 光男	山下 光昭	議決結果
議案第1号 加西市教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	○	○	○	○	×	×	×	×	×	議長	×	○	○	×	×	×	×	○	(賛7、反10) 原案不同意
加西市職員の公益的法人等への派遣等に関する条例の制定について（修正案）	○	○	○	×	×	×	×	×	×	議長	×	○	×	×	×	×	×	○	(賛5、反12) 原案否決
議案第2号 加西市職員の公益的法人等への派遣等に関する条例の制定について（公益的法人等への職員の派遣等に関し必要な事項を定めるため、条例を定めようとするもの）	×	○	○	○	×	×	×	×	×	議長	×	○	○	×	×	×	×	○	(賛6、反11) 原案否決
議案第3号 加西市副市長定数条例の一部を改正する条例の制定について（山積する新たな行政課題に、より一層迅速かつ的確に対応するため、副市長の定数を2人以内に改正し、体制の整備・強化を図るもの）	○	○	×	○	×	×	×	×	×	議長	×	×	○	×	×	×	×	×	(賛4、反13) 原案否決
加西市開発調整条例の制定について（修正案）	○	○	○	○	×	×	×	×	×	議長	×	○	○	×	×	×	×	○	(賛7、反10) 原案否決
議案第4号 加西市開発調整条例の制定について（開発事業の実施にあたり、市、開発事業者及び市民の相互の理解と協力を促進することにより、適正な土地利用の推進を図り、良好な地域環境の形成を目指すため、開発事業に関する総合的な事前調整に必要な基準及び手続を定めるもの）	○	○	○	○	×	×	×	×	×	議長	×	○	○	×	×	×	×	○	(賛7、反10) 原案否決
議案第5号 指定管理者の指定について（オークタウン加西）	○	○	○	○	×	×	×	×	×	議長	×	○	○	×	×	×	×	○	(賛7、反10) 原案否決
意見書案第1号 永住外国人への地方参政権付与の法制化に反対する意見書（案）について	○	○	○	○	×	×	○	○	×	議長	×	×	×	○	×	×	○	×	(賛8、反9) 原案否決

○…賛成 ×…反対

# 3月定例会 委員会の 審査状況

3月定例会では、31議案が各常任委員会、予算特別委員会に付託され、3月15日から17日にかけて審議されています。その概要についてお知らせします。

## 建設経済委員会

(議決結果)

5議案について、いずれも全会一致で可決。

(主な審議の状況)

水道事業会計補正予算(第1号)

期間を決めて水道料金を値下げできないかとの質問に対し、市長からはこれだけコストがかかっていることを市民に説明し、合理的な範囲で値下げ、値上げをして、トータルで市民負担を軽減する手法で実施していきたいとの答弁でした。

## 厚生委員会

(議決結果)

9議案について、いずれも全会一致で可決。

(主な審議の状況)

福祉医療費助成条例の一部改正

兵庫県において、子ども医療費助成制度が創設されることにより、入院診療についての中学生3年生までに拡大するもの。通院も含めて助成している小野市、三木市を除き、北播では横並びの状況となること。委員からは、所得制限の適用について質問があり、所得制限を入院の拡充についても適用し、制限額は住民税の所得割が約23万円、所得では夫婦と子ども一人で約540万円とのこと、対象者の約4%、150人程度が適用できないとのことでした。

## 総務委員会

(議決結果)

玉丘史跡公園の設置及び管理に関する条例の一部改正、市の組織及び事務分掌に関する条例の一部改正については、賛成少数(2対3)により否決、他の9議案については全会一致で可決。

(主な審議の状況)

玉丘史跡公園の設置及び管理に関する条例の一部改正

玉丘史跡公園の占有的利用に際し、受益者負担の原則に基づき新たに施設占有使用料を徴収しようとするもの。料金徴収を予定しているのは全体面積6・2分のうち芝生の部分約九千平米で、利用状況はほとんどがグランドゴルフで、近隣市の状況については小野市、三木市、西脇市、加東市のいずれも徴収されているというもの。減免制度については、幼稚園、小・中学校が授業の一環として使用する場合、市が主催して実施する事業は全額免除、老人クラブを初め、教育委員会、市民福祉部が認めている団体の場合は50%減免で、自治会が使用する場合は、現段階では減免対象外となっているが今後の検討課題として協議したいというもの。

委員からは市内、市外の方では利用料金に差をつけるべきであるという意見、いこいの村や丸山公園の市民が自由に憩える芝生広場が無料であるのに、玉丘史跡公園だけが料金徴収することや、料金徴収するなら要綱の作成や市民への周知を図るなど、行政としての手順を踏んでいくべきとの意見が述べられました。

市の組織及び事務分掌に関する条例の一部改正

人権推進課を市民福祉部から総務部に所管変更しようとするもの。委員からは、初日に提案せず追加提案された理由や、提案に至った庁内での検討内容について確認され、総務課で4月1日に向け副市長や市長に相談しながら検討を進めてきたもので、急遽必要性が生じたというもの。人権問題は同和問題だけでなく、男女の問題や外国人との共生問題等、ダイバーシティという多様性の社会になっており、加西市においても取り組んでいくこととするもので、ぎりぎりまで協議していたために追加提案となり、これからの人権教育は従来のビデオを見て議論するという形式でなく、市民と一緒に人権問題を検討する方法を検討し、自治参画を共同で進めていくべきという結果になったというものでした。

## 予算特別委員会

(議決結果)

決、他の7議案については全会一致で可決。

(主な審議の状況)

平成22年度一般会計予算

自治会三役に女性が登用された町に10万円の補助を交付することについて、緊縮財政により多くの部門で予算が削減されている中、財政査定でゼロだったものが予算化されたことに関して、自治会での女性の三役への登用について区長会対象のアンケートを実施したところ、70%以上が前向きな回答であったことに加え、担当からぜひやりたいという提案があったものとのこと。自治会の三役に女性が入ることに対して補助金を出すことが男女共同参画の趣旨に一番適切な施策とは思わないという意見、現時点ではもう一度考え直して女性が出ていけるようシステムを考えていただきたい等、多くの意見が出され、男女共同参画推進助成金150万円を削除し、予備費に算入する修正案が提案され、採決の結果、賛成6、反対2の賛成多数により修正案が可決しています。修正案を除く他の原案は、賛成7、反対1の賛成多数で可決しています。

一般会計予算については賛成多数で修正可決、後期高齢者医療特別会計予算、水道事業会計予算については賛成多数で可

# 3月定例会

## 討 論

議案に対する討論について、  
主なものをお知らせします。

### 玉丘史跡公園の設置及び 管理に関する条例の一部改正

#### 賛成

○他市と比較しても高くはなく、標準的な金額設定。

○使用料金により、玉丘史跡公園がより整備され、よりよい環境にしていくべき。

○有料化により、遠慮なく利用できる。

#### 反対

○市民の健康、老人の生きがいづくりの面から見て、有料化は逆効果。

○市民に負担をお願いするときほど、丁寧な説明と周知期間をとるべき。

○もっと玉丘史跡公園を利用促進することを行政として考えるべきで、取れるところから取っていきという姿勢に見える。  
○使用料を徴収する場合は、条

例に施設の定義を入れるべき。

#### 採決結果

賛成5、反対12で否決



玉丘史跡公園

### 平成22年度一般会計予算

#### 原案に賛成

○男女共同参画を打ち出している加西市にとって、女性が自治に参加するきっかけになるもの。

○補助金は町において活用方法を検討してもいいものであり、女性視点でのまちづくりの一步にしてもらえはいい。

○男女共同参画社会基本法において、地方自治体は地域の特性に応じた対策を取る責務が規定されている。

#### 修正案に賛成

○大切なのは、現実には女性が自治会の施策方針決定の過程に参画できる環境にあるかどうかで、地域性や各町の事情を無視した補助制度が真の男女共同参

画の推進とは決して言えない。

○地域の女性の意思を反映したものであるか疑問。

○財政再建のために事業を取捨選択している現状では、妥当性を欠く。

#### 採決結果

(修正案) 賛成13、反対4で可決  
(修正部分を除く原案) 賛成15、  
反対2で可決

### 市の組織及び事務分掌に 関する条例の一部改正

#### 賛成

○これからは自治組織との連携が大事で、日常生活において人権活動も入ってくるべきであり、現在の市民福祉部から総務部に所管を移行し、地域とより密着した活動ができる。

○機構改革については、市長の裁量の範囲。

#### 反対

○全庁的な検討・協議に基づく目標をしっかりと定めた計画的な改革とは思えない。

○現行の市民福祉部が最も適している。

○なぜ総務部に移管しなければならぬかという議論が十分されていない。

#### 採決結果

賛成7、反対10で否決

## 第231回 加西市定例会議決結果一覧 平成22年3月1日(月)～3月25日(木)

議案	井上 智章	別府 直	丸岡 弘満	小谷 安富	繁田 基	土本 昌幸	高橋 佐代子	黒田 秀一	吉田 稔	後藤 千明	森元 清蔵	井上 芳弘	西川 正一	三宅 利弘	高見 忍	森田 博美	桜井 光男	山下 光昭	議決結果
平成21年陳情第3号 幼稚園・幼児園教育の充実について	○	○	×	×	○	○	○	○	○	議長	○	○	×	○	○	○	○	×	(賛13、反4) 原案採択
議案第17号 玉丘史跡公園の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について (占有的利用に際し、受益者負担の原則に基づき新たに施設占有使用料を徴収するための改正)	×	○	○	○	×	×	×	×	×	議長	×	×	○	×	×	×	×	○	(賛5、反12) 原案否決
議案第40号 加西市の組織及びその事務分掌に関する条例の一部を改正する条例の制定について (人権施策の推進について、自治組織、市民参画などとの連携をさらに深めるため、総務部に所管を変更するための改正)	○	○	○	○	×	×	×	×	×	議長	×	○	○	×	×	×	×	○	(賛7、反10) 原案否決
議案第30号 平成22年度加西市一般会計予算について(修正案)	○	×	○	×	○	○	○	○	○	議長	○	○	×	○	○	○	○	×	(賛13、反4) 修正可決

議案	井上智章	別府直	丸岡弘満	小谷安富	繁田基	土本昌幸	高橋佐代子	黒田秀一	吉田稔	後藤千明	森元清蔵	井上芳弘	西川正一	三宅利弘	高見忍	森田博美	桜井光男	山下光昭	議決結果
議案第30号 平成22年度加西市一般会計予算について(修正部分以外)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	×	○	○	○	○	○	×	(賛15、反2) 修正可決
議案第33号 平成22年度加西市後期高齢者医療特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	×	○	○	○	○	○	×	(賛15、反2) 原案可決
議案第37号 平成22年度加西市水道事業会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	×	○	○	○	○	○	○	(賛16、反1) 原案可決
請願第2号 後期高齢者医療制度をただちに廃止することを求める意見書提出について	○	○	×	×	×	×	○	○	○	議長	○	○	○	×	○	○	○	○	(賛12、反5) 原案採択
意見書案第3号 後期高齢者医療制度をただちに廃止することを求める意見書(案)について	○	○	×	×	×	×	○	○	○	議長	○	○	○	×	○	○	○	○	(賛12、反5) 原案可決
黒田議員に対する懲罰動議について	×	×	×	×	○	○	○	除斥	○	議長	○	○	×	○	○	○	○	×	(賛10、反6) 原案可決 (戒告)
西川正一議員に対する懲罰動議について(除名の懲罰)	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	除斥	○	○	○	○	○	(賛11、反6) 原案否決※
西川正一議員に対する懲罰動議について(出席停止の懲罰)	○	×	×	×	○	○	○	○	○	議長	○	○	除斥	○	○	○	○	×	(賛12、反4) 原案可決 (出席停止)

○…賛成 ×…反対 除斥…<sup>しよせき</sup>議員の一身上に関する事件のため、審議に賛成できない。※ 特別多数議決のため、可決には14名以上の賛成が必要

以下の34件については、全会一致で同意、可決、採択しています。

- 議案第 6号 農業共済事業運営協議会委員の委嘱につき同意を求めることについて
- 議案第 7号 損害評価会委員の委嘱につき同意を求めることについて
- 議案第 8号 特別職に属する常勤の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第 9号 議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第10号 一般職の職員の給与に関する条例及び職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第11号 加西市職員の公益的法人等への派遣等に関する条例の制定について
- 議案第12号 加西市有線放送電話の廃止に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について
- 議案第13号 加西市手数料条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第14号 加西市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第15号 加西市福祉医療費助成条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第16号 加西市農業共済条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第18号 加西市長の選挙における選挙運動用ビラの作成の公営に関する条例の制定について
- 議案第19号 北播磨3市1町消防広域化協議会の設置について
- 議案第20号 不動産の取得について
- 議案第21号 加西市農業共済事業会計事務費の賦課総額及び賦課単価を定めることについて
- 議案第22号 平成21年度加西市一般会計補正予算(第5号)について
- 議案第23号 平成21年度加西市有線放送電話特別会計補正予算(第1号)について
- 議案第24号 平成21年度加西市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)について
- 議案第25号 平成21年度加西市介護保険特別会計補正予算(第2号)について
- 議案第26号 平成21年度加西市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)について
- 議案第27号 平成21年度加西市老人保健医療特別会計補正予算(第2号)について
- 議案第28号 平成21年度加西市水道事業会計補正予算(第1号)について
- 議案第29号 平成21年度加西市下水道事業会計補正予算(第1号)について
- 議案第31号 平成22年度加西市国民健康保険特別会計予算について
- 議案第32号 平成22年度加西市介護保険特別会計予算について
- 議案第34号 平成22年度加西市老人保健医療特別会計予算について
- 議案第35号 平成22年度加西市公園墓地整備事業特別会計予算について
- 議案第36号 平成22年度加西市農業共済事業会計予算について
- 議案第38号 平成22年度加西市下水道事業会計予算について
- 議案第39号 平成22年度加西市病院事業会計予算について
- 議案第41号 職員団体のための職員の行為の制限の特例に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 請願第 1号 「協同労働の協同組合法(仮称)」の速やかな制定を求める意見書提出について
- 意見書案第2号 「協同労働の協同組合法(仮称)」の速やかな制定を求める意見書(案)について
- 意見書案第4号 核兵器の廃絶を求める意見書(案)について

# 一般質問

3月8、9、11日の本会議では、  
延べ26人の議員が質疑・一般質問を行い、  
議案や市政全般にわたり活発な質問が行われました。  
(発言順に掲載)



また、若い女性に多発している子宮頸がんにもワクチンが許可され販売が開始されているが高額。厳しい財政状況だが、若い女性の健康と体を守ることが最も重要な少子化対策と思う。全額あるいは半額の公費助成の考えは。

**問** 子どもを持つ親にとって一番不安なのは子どもの病気。特に、昨今心配されているのが髄膜炎で、予防するヒブワクチンが解禁された。予防により、医療費等の削減につながり、夜間の小児救急医療に劇的な変化をもたらすとも言われているが、接種料の個人負担が高額。接種料の全額あるいは半額の公費助成があれば、接種率は高まると思うがどうか。



高橋佐代子 議員  
(21政会)

少子化対策における予防接種の公費助成について

**答** ヒブワクチンについては、県も2歳未満を対象に接種料金の4分の1、上限2,000円を限度として助成をする補助事業で、22年4月から開始されるものです。市としても、接種費用は子育て世代の負担になる現状を認識しており、ワクチンの流通が今後増えてくると聞いています。任意の予防接種ですが、市内の小児科医師とも話し合いを実施し、接種を希望する市民への助成について検討を始めています。

子宮頸がんワクチンについては、積極的に動向を把握したいと考えており、近隣市町、医師会等関係機関とも、がん対策とあわせて話し合いを行う必要があると考えています。

幼稚園、保育所統合・民営化について



山下光昭 議員  
(無所属クラブ)

**問** 統合・民営化の素案が発表されて、保育現場に不安と動揺が広がっている。いい保育には不安の払拭が先決。会派視察で訪れた名張市では、免職 shouldn't be basic as a privatization. 職員と臨時職員の処遇についてどう考えられているか。

昨年、民営化に対する民間事業者の関心表明を募ったが、その内容と感触は。事業者の選考は全国公募か。市内での保育実績のある者に限るを入れてはどうか。

市内、全園民営化ではなく、一部公立園を残す事の意義を感じるが、どう認識されているか。



**答** 職員の不安の払拭はその通りだと思います。

タウンミーティング等の意見を受け、一斉ではなく、段階的に民営化を進めていくと、正職員の減少数と保育所、幼稚園の減少数が調和的にいけると思いますが、臨時職員については、民営化する園に雇用を継続してもらおうと強く働きかけることや、市役所で別な仕事に入ってもらうこともあり得ると思います。

関心表明の事業者は、福祉法人が6、株式会社4、学校法人が1、個人が1名です。市内の事業者については、有力な候補者ですが、市内業者に限りは考えていません。全国公募するといふふうにご意見を伺いたい。

いろいろな方のご意見等を受け、必要最小限の公立園は残すと考えています。主として研究園という位置付けになると思います。

市長施政方針と教育行政方針の整合性について



井上智章 議員  
(新政会)

**問** 市長施政方針にある「教育の質の向上、ソフトの充実」と、教育行政方針にある「自主的に生きる力を培い、個性や能力・創造性を伸ばす教育の充実を図る」という部分の整合性について、教育長が考える質の高い教育と、市長が考える質の高い教育とはどう違うのか。教育は加西市にとって最も大事と言われているが、両者が話し合っって同じ方向に進むことが大事なのではないか。

**答** 教育行政方針の公教育の質の向上とは、確かな学力、豊かな心、キャリア教育、特別支援教育、健康教育等をやっていくことと理解をしています。市長が理想とする教育は他の都市から加西市に移住してでも加西の公教育を受けたいというのがすばらしい教育だと思います。同じことを教える、再生産していくことで終わるのではなく、新しい変革をもたらすような教育を子どもたちにしていくことが大事だと思います。

教育委員会に対しては、市長は制度上ものを言えない状況で、組織としてなかなかコンセン



サスは取れないと思えます。

### 農政の現況と加西市の取り組みについて



三宅利弘 議員  
(21政会)

**問** 政権交代により、農政において、補助金制度が大きく変わった。水田利活用自給力向上事業について、昨年12月末に、全国一律の作物に対する10ヶ当たりの単価が発表され、県の設定単価が発表されたが、地力増進・景観形成作物が1万円から5,000円に減額をされた。なぜこのような単価設定になったのか。

また、加西市における農政の考え方は。

**答** 地力増進・景観形成作物の減額理由は、県としては地力増進・景観形成作物より、自給率向上につながる小麦に対して、優遇措置を講じられたものと考えています。

広大な農業空間があることは、加西市の売りとして農業をもっとアピールしていかなければならないと思っています。具体的に加西市の農業をどのような形に持っていくかという計画を、総合計画とリンクする形でつくり上げることが第二次改革マニフェストにも挙げていま

す。さらに、農業の先進研究施設とタイアップした新しい農業や、加西ブランドの確立も外部の力を借りてやっていく必要があります。22年度の一つの大きなテーマとして、検討したいと思えます。

### 市長、副市長、教育長の退職金について



高見 忍 議員  
(21政会)

### 問

昨年3月議会で、報酬の本則カット率を引き下げ、市長70万円を84万6,000円、副市長63万6,000円を69万9,400円、教育長60万2,000円を64万3,000円に引き上げ、また7月から市長94万円、副市長75万2,000円、教育長67万4,000円に引き上げた。これにより4年ごとに支給される退職金も大幅に増額されると思うが、それぞれ幾らになるのか。特別職の退職金は全国ばらばらでお手盛りと言われているが、兵庫県市町村退職手当の支給率は、全国的にどれぐらいの水準か。

### 答

昨年の6月に加西市単独の特例カット実施にあたり、三役については条例どおりの給与になっています。その給与に基づいて退職金を算定すると、市長1,850万円、

副市長900万円、教育長600万円です。退職金は県の退職手当組合の規定により県下市町一律で、支給率は月数にして19・68カ月、全国47都道府県のうち40位高いものとは考えていません。

### 消防団について



丸岡弘満 議員  
(東風会)

### 問

消防団は地域の防災だけでなく、さまざまな役割を果たし、大きな実績や功績を残している必要不可欠な組織だが、消防団員の確保、募集の現状は、就業形態の多様化や少子化の影響で大変難しくなっている。市としての具体策はないのか。



### 答

現在実施している対策は、国でも消防団確保環境を整えることを目的に事業

所、団体等への連携を図り、地域の防災体制の充実強化を進めるために消防団協力事業所表示制度を進めています。当市においても、昨年10月1日に4団体11事業所に表示証を交付し、団活動に積極的に協力していただくことになっています。消防団については、地域防災力の核として絶対に存続させなければならぬ組織ですので、今後でもできる限り地域の協力をお願いするとともに、行政においても維持に努めます。

### 市内道路について



桜井光男 議員  
(21政会)

**問** 県道三木穴粟線、市道西谷坂元線、市道北条長線で用地買収が難航して工事がとまっていると聞くが、どういう状況か。今まで投資をして一部分だけできないのはもったいない。何とか交渉を進めて早く完成してほしい。

### 答

県道三木穴粟線丸山バイパスの整備で一部用地買収が難航しており、当初平成23年度の供用開始が25年度にずれ込んでいます。西谷坂元線も、一部用地買収で難航している部分がありますが、工事は今のところ順調に進んでいます。

当初平成22年度の供用開始が、1年ずれて平成23年度を考えています。北条長線についても地権者の合意が得られず工事が中断したままで、何十回と交渉を持ちましたが、合意に至りません。今後粘り強く交渉を重ね、1日も早い道路の供用開始を目指して努力したいと思えます。

### 新聞折り込みの記事について



小谷安富 議員  
(太陽の会)

### 問

一部の新聞折り込みの記事などに、市長は農業委員会にも「審議にかかる前に私が可否を決めるので見せろ」と要求し、「市長の管轄ではない」と農業委員会会長に拒否されていると書かれているが、これは真実か。

### 答

市内で配布された文書に書かれている内容は事実誤認です。市長から見ると虚偽とも言える表現だと思えます。市長が管轄外の農業委員会の手続や決定について文句は言ったことは一切ありませんし、文書を見せろと命令的な口調で言ったこともありません。市長就任以降、片方で農業の振興、農地の活用という問題に取り組み、一方で宅地利用や定住促進という問題点も抱え、また他

方では伝統的な集落の景観や農業環境、自然空間を保護、保全していかなければならないという課題を抱えています。土地利用上、さまざまな問題が予測されるわけで、農政課、農業委員会、都市計画課という関係部署が情報を共有し、齟齬が発生しないよう誘導、指導していくのが市長の役割だと思います。

### 介護問題について



土本昌幸 議員  
(公明党)

**問** 地域で暮らせる環境を拡大するため、小規模多機能施設の設置推進の取り組みをどのように考えているのか。また、今後必要なサービスについては、どう考えているのか。団塊の世代が75歳以上になる2025年時点では介護施設待機者の解消が必要になるところかと思う。そのためには、特別養護老人ホーム、グループホーム等の増設や、在宅介護の支援強化が必要と思うが、充実策は。

### 答

現在小規模多機能型居宅介護は、北条校区、泉校区、善防校区に1施設ずつ整備されています。加西校区においてははまだ開設していませんが、22年度開設に向けて準備を進めます。現在開設している校区において利用規模が増えた場合は、既設の校区に新たに整備することも検討したいと考えています。施設、在宅のサービス等について、計画等にあるサービスがどのように提供されているかという検証に十分努め、不都合な部分があれば、速やかに対応するように今後も努めたいと考えています。

### 小中一貫教育について



森元清蔵 議員  
(公正クラブ)

**問** 加西市においても、将来的に学校の統廃合は必要になってくると思うが、それに当たり先を見越して建物だけではなく、中身の学校教育についても一貫教育という観点で改善していくということが必要ではないか。加西市において小中一貫教育が必要だと考えているのか。それに向けての取り組みはなされているか。

は、中一ギャップの解消、不登校の解消につなげるということです。小学校、中学校を子どもたちにとって滑らかに接続していくシステムを考えることは必要だと考えています。9年間をつなげることで、それぞれの子どもたちの発達段階に応じたカリキュラムの編成が可能になります。現在は、中学校区ごとに、小中連携推進委員会を設置して、出前授業や体験入学的に中学校へ行ったりして、連携活動に取り組んでいます。一貫教育を本気とするならば、責任ある部署を設定して取り組んでいく必要があると思います。教育センターという新たな組織を立ち上げ、新しい教育研究ができるのであれば、かなり強力に進めていけると思います。

### 学校耐震化計画と木造校舎について



井上芳弘 議員  
(日本共産党)

**問** 木造校舎の耐震基準が基準値に満たない場合、北条中学校のように補強ではなく、改築という方向へ論理的に進めていけるのか、改めてお尋ねをしておきたい。

北条（中学校）については、本来耐震化工事のみで考えておりましたが、コンクリート強度に問題があるとの指摘があり、やむなく改築に踏み切りました。木造校舎については、(耐震基準に満たない場合)必要な補強工事を行うという線で考えています。必要な補強工事の中には壁面の補強などばかりではなく、基礎部分の補強も入ると考えています。

### 職員の採用について



黒田秀一 議員  
(21政会)

**問** 21年度の新卒採用について応募があったが、試験の結果、成績が基準に満たなかったという理由で採用がゼロとされた。市長の関与はなかったのか。採用基準はどのように定めているのか。最終決定は試験委員会か、市長か。

**答** 市長の関与については、職員採用試験に係る取り扱い要領中、市長権限の行使について規定しており、面接試験にオプザーバーとして参加することや、採用候補者名簿の中から合格者等を決定することについて定めています。21年度の事務職採用試験は2名程度の募集に対して20名の応募があり、13名が1次試験を受験し、7名が合格、2次面接を受験しました。

### 上下水道料金について



吉田 稔 議員  
(21政会)

たがいずれも基準レベルに達しなかったということで採用を見送ることになりました。最終決定は、任命権者である市長とさせていただきます。

### 問

加西市の水道料金が高いと言われているが、職を失ったり、収入が減った方への措置を考えているのか。また、多く水を使用する事業所が累進的に高くなる制度で、新規の進出には奨励金が措置されているが、従来から多く使っているところはますます高くなる。料金の公平性についての考え方は。下水道料金について、子メーターを別につけると、水道を使っても下水道に流れない分は控除される制度があるが、市民に周知されているのか。多くの市民は、知らないまま多額の料金を払っている。公平を旨とする行政としてはどう考えているか。

### 答

生活弱者への政策として、生活保護受給者の上下水道料金の基本料金を免除し、少子化対策として、母子家庭について、上下水道料金の基本料金の減免と、3歳未満の第3子のいる家庭について、下水



道料金の基本料金の免除を行っています。大口の新規事業者には、優良企業を産業振興促進条例により奨励金を交付して水道料金の負担軽減を行っています。平成20年4月に水道使用料を一律5%値下げしましたが、引き続き経営改善に努め、負担軽減できるよう努めたいと思います。

下水道の子メーターについては、市のホームページに掲載し、お客様センターに相談があった場合は、申請方法を説明しています。これ以上に周知方法がないが、今後検討したいと思えます。

### 予防ワクチン助成について



繁田 基 議員  
(公明党)

県下で現在取り組みされているのは、予定も含めて22市町。加西市も当初予算には載っていないが、6月補正での取り組みの考えは。

子宮頸がんも12歳の女子にワクチンを接種した場合、がんの発生を年間73.1%減らすことができるという試算も出ており、これをしなければ発症したときに医療費がワクチンの接種料の2倍以上かかると言われて

いる。国の制度ができれば早急に取り組みをしていただきたい。ヒブワクチンについて、

県の補助事業の後押しを受け、市内の小児科医師とも話し合いを実施し、接種を希望する市民への助成について前向きに検討を行っています。また、実施開始が年度途中になっても、4月1日に遡って対象とすることも合わせて検討したいと考えています。

子宮頸がんのワクチンについては、効果が大きいことは理解していますが、まずは希望者が接種できるだけの流通体制が必要と考えています。予防接種法については、国でも検討されており、任意接種のワクチンを含め、予防接種法全般の改革の状況を積極的に情報収集し、引き続き検討したいと考えています。

### 施政方針について



森田博美 議員  
(21政会)

公民連携がすべてだと表明されても、具体的な説明、道筋、成果、保障、担保も見いだせない。一旦は借金を抱える状況になるが、新しい公共財が生み出されるので、借金返済が長期化になっても、いまの加西市にとって必要な事業

は当然取り組むべき。厳しい財政状況の中ではあるが、血税を最大限に活用して市民生活の下支えをするような施政方針を出すべきではないか。

税金を使って、足りない部分は起債して公共財を整備し、市民サービスを行政が担ってきたわけですが、公共財の整備すらできない、財政的に厳しい状況です。これからのやり方としては、市民が期待するサービスを官ではなく、民が担ってもらえるところ、民のほうが優れている部分は民に提供してもらって、行政としては一定期間の対価を分割払いしていくというのが公民連携のスタイルだと思っています。

### 安全な学校づくりについて



別府 直 議員  
(新政会)

学校に配備してあるネットランチャーは平成17年導入で、更新すべき時期にきている。期限切れのものを防犯訓練等で実際に先生の前で打ってもらい、認識してもらう必要があるのではないかと。催涙スプレーも早急に買い換えなければならないか。

現在の不審者対応システムは、いかに職員室へ不審者が入った

という第一報を入れるべきにかかっている。各教室と職員室を結んだ緊急通報システムの設置を早急に考えるべきではないか。

AEDについては、学校を使われる方にはしっかりと講習を受けていただくことが大事。設置した場所も全員で見えて、万が一に備える必要があるのではないかと。



ネットランチャー等については、少なくとも4年に1回は実射して訓練することは大事だと思います。また、校舎あるいは幼稚園、保育園等の建てかえにあわせて、防犯力メラ等も適宜設置していきたいと考えています。

催涙スプレーについては、早急に買いかえていくべきだと思います。

各教室と職員室を結ぶ緊急通報装置の設置については、非常に大事なこととして今後の重要な検討課題とさせていただきます。

AEDに関しては、体育館等の公共施設をスポーツ等を使う場合は、かぎを受け渡す条件としてAEDの設置場所を確認し、万一必要な場合はどういった手順かマニュアルを見て使ってもらおうという仕組みを考えたと思います。

### 小谷城再現基本計画について



西川正一 議員  
(正睦会)

私が平成7年12月議会でも小谷城の有効活用について質問したが、平成9年11月の小谷城跡の再現基本計画はどういったもので、北条まちづくり協議会での取り組みについては、どのように考えているのか。

### 答

小谷城は市街地から北西の近傍に位置する山頂にあり、市街地を取り囲む重要なスカイラインの一部で、豊かな自然環境を有しています。平成9年度に小谷城跡公園整備基本構想策定業務を完了しました。小谷城跡の歴史文化、自然環境の保全と活用を基調とし、人と自然のふれあいの場、健康増進の場などとすることを目的とし、城山の自然保全を基本とした上で、小谷城跡を市街地を取り囲む山間緑地の一つの核と位置づけ、その拠点を整備し、各拠点を遊歩道で結び、オークタウン加西とのネットワークを骨格とする構想となっています。小谷城跡は、戦国時代の由緒ある歴史が残っている、物語性のあるところで、小谷谷村、西谷東、西谷西、畑町の旧来の尾根伝いに縦走するのもおもしろいと思いますので、地元の見聞も聞きながら対応していきたいと思えます。

## 加西市議会基本条例の制定に向けて

4月24日(土)の「議会改革市民フォーラム」をはじめ、4月27日(火)～30日(金)まで実施しました、加西市議会基本条例(素案)の地区別懇談会には、280余名の方に参加をいただきました。

会場でのご意見はもちろん、アンケート用紙にも64名の皆さんから回答が寄せられています。すべてを条例に反映することは困難ですが、必要な見直しを行い、正式の加西市議会基本条例(案)として、6月制定に向けて進めてまいります。



4月27日(火) 北部公民館



4月28日(水) 南部公民館



4月29日(木) 善防公民館



4月30日(金) コミセン小ホール

### 一度ご覧になりませんか。みなさんの代表の質問を！

#### ■次回平成22年(6月)加西市議会定例会の日程

月日	曜日	時間	会議
6月2日	水曜日	10:00	本会議(提案説明等)
6月7日	月曜日	15:00	発言通告期限(一般質問)
6月8日	火曜日	15:00	発言通告期限(質疑)
6月11日	金曜日	10:00	本会議(質疑・一般質問)
6月14日	月曜日	10:00	本会議(質疑・一般質問)
6月15日	火曜日	10:00	本会議(予備日)
6月17日	木曜日	10:00	建設経済委員会
6月18日	金曜日	10:00	厚生委員会
6月21日	月曜日	10:00	総務委員会
6月25日	金曜日	10:00	本会議(最終日、委員長報告・採決)

※日程は変更になる場合があります。傍聴を希望される場合は、議会事務局(☎42-8790)でご確認ください。本会議の傍聴は市役所議会棟4階でできます。

※質疑・一般質問の内容や発言順序は、6月8日(火)に加西市議会のHPIに掲載予定です。

ようこそ  
市議会ホームページへ

加西市議会

本会議・委員会の日程をはじめ、一般質問の通告内容や発言順も掲載しています。また、インターネットによる議会中継(生中継・録画中継)もご覧いただけます。ぜひ一度ホームページをご覧になって関心のある本会議や委員会を傍聴してみてください。

あなたのご意見をお寄せください

市議会だよりは、皆様と市議会をつなぐ【パイプ役】として常に『正確でわかりやすい』をモットーに編集しています。この市議会だよりをよりよいものとしていくため、皆様のご意見をお寄せください。お待ちしております。